

2020年3月24日

鹿児島大学病院 矯正歯科で
矯正歯科治療を受けた患者さんへ
(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院矯正歯科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

不正咬合患者の咬合・顎顔面形態が口腔機能および口腔・歯周組織に与える影響について

【研究機関】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野

鹿児島大学病院 発達系歯科センター 矯正歯科

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面学分野

鹿児島大学病院 口腔顎顔面外科センター 口腔顎顔面外科

【研究責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野

鹿児島大学病院 発達系歯科センター 矯正歯科

講師 前田 綾

【研究の目的】

本研究の目的は、咬み合わせや顎の形態と口腔機能や歯の周りの組織との関

連を明らかにすることです。これが明らかとなれば、矯正治療におけるかみ合わせ等の改善が、形態的改善のみならず口腔機能の改善を引き起こし、健全な口腔・歯周組織を構築する可能性があります。また、治療の影響についても解析することで、口腔機能や歯の周りの組織に副作用が生じにくい歯科治療の確立にも貢献できる可能性があります。

【研究の方法】

矯正歯科に来院した患者さんの検査資料を分析し、診療録からの治療内容などを調査します。異なる咬み合わせや治療が、口腔機能や歯の周りの組織などに影響するか比較したり、関連性を明らかにしたりします。

【対象となる患者さん】

1980年4月～2025年12月31日までに、鹿児島大学矯正歯科に来院し、検査を行った患者さん対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

利用または提供する試料・情報の項目

矯正歯科に来院し、診療で必要な検査で採得された資料を分析します。

1) 口腔内および顔面形態の診査・検査の分析

口腔内診査による口腔内の状態（咬合、現在歯数、むし歯、くさび状欠損の有無、歯の咬耗の程度）、顔面・口腔内写真およびパノラマエックス線写真、頭部エックス線規格写真、デンタルエックス線写真（10枚法）、咬合法エックス線写真、CT、MRIおよび口腔模型を分析します。また、診療録から治療内容を調査します。

2) 顎口腔機能（あごの動き）の検査の解析

顎口腔機能検査、咬合力（接触面積）検査、舌圧、握力および安静時・咀嚼様運動時のつばの出る量の測定結果および睡眠検査および心理検査結果を解析します。

利用する者の範囲

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 歯科矯正学分野
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面学分野
鹿児島大学病院 発達系歯科センター 矯正歯科
鹿児島大学病院 口腔顎顔面外科センター 口腔顎顔面外科

研究責任者

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 歯科矯正学分野
鹿児島大学病院 発達系歯科センター 矯正歯科
講師 前田 綾

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 歯科矯正学分野
鹿児島大学病院 発達系歯科センター 矯正歯科
講師 前田 綾

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科矯正学分野の研究費（使途特定寄附金）および公的研究費（厚生労働科学研究費）で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡くださ

い。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番地1号

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 歯科矯正学分野

鹿児島大学病院 発達系歯科センター 矯正歯科

講師 前田 綾

電話 099-275-6252 FAX 099-275-6258